

1-8 部下の人数

上司向け調査では、部下の人数を6カテゴリー（6階級）で調査した。その結果は以下のとおりである。6～10名の部下を持つ上司がもっとも多く（38.0%）、続いて11～15名の部下をもつ上司が多かった（30.2%）。21名を超える部下を管理監督する上司は10.1%であり、それほど多いとはいえない。「部下はいない」と回答した上司も1名いたが、誤差の範囲である。

調査対象となった6社では、適正規模の報告・監督関係が保たれており、人数的観点だけからすれば、上下関係はそれほど疎遠とはいえないだろう。ただし、SNSやメール中心となった昨今のコミュニケーションスタイルや、プレーヤーとマネジャーを兼任する管理者層の多忙さからすれば、人数だけでは計り知れない上下関係の距離を感じることもあるかもしれない。

表1-8-1

上司向け調査による部下の人数

	人数	%
部下はいない	1	0.6
1～5人	9	5.0
6～10人	68	38.0
11～15人	54	30.2
16～20人	29	16.2
21人以上	18	10.1
計	179	100

図1-8-1

上司向け調査による部下の人数の内訳

